



やあ!!

1997
JULY
No.50

7

市町村文化財紹介
南河内町

ひがしねくようとう
東根供養塔

南河内町東根にある東根供養塔は、元久元年（1204年）に佐伯伴行という人物が、両親を供養するために造ったといわれている。

県内に現存する紀年銘のある宝塔としては最古のもので、関東地方でも代表すべき宝塔のひとつである。この塔は凝灰岩で造られ、20行にわたり銘文が刻まれている。

It has been said that Higashine Kuyoutou in Higashine, Minamikawachi-machi was built by Tomoyuki Saeki in 1204 for the repose of his parents' souls.

It is the oldest preserved memorial treasure in Tochigi, and also is one of the most important works in the Kanto area. It is made of tuff and twenty lines of inscription still remains visible



青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介

シリーズ NO. 6

チュニジア

TIA
INFORMATION

「世界が見える写真展」の写真募集
栃木浙江友好会館竣工県民訪中団員募集

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia>

- ◆ J E T コーナー 外国語指導助手
クリス・ライトさん
- ◆ 国際交流学校訪問 真岡市立真岡西中学校
- ◆ ようこそとちぎへ 平成9年度栃木県海外技術研修員
- ◆ 国際交流団体紹介 黒磯市国際交流協会
- ◆ こんな店あんな店 インド料理 タジマハール

JETコーナー

外国語指導助手
クリス・ライトさん
(26歳・アメリカ出身)



こんにちは。私の名前はクリス・ライト、アメリカのバージニア州出身です。現在、人口3万人の矢板市に住んでいます。塩谷郡ALT(外国語指導助手)として勤務して3年、

任期満了が近づいています。塩谷郡内の多くの中学校と小学校を訪問指導してきました。

毎朝通勤途中の矢板駅で、ふと過去3年間でどれだけの生徒を教えてきたのかと思い起します。偶然にも、私の乗る電車の5分前に、たくさんの高校生を乗せた電車が着くので、逆方向に歩いていく生徒との

すれ違いの中(1/3は顔見知りの生徒)、ほんの少しのコミュニケーションを楽しみ、充実していた3年間の時の流れの速さに驚きながら振り返っています。一番始めに教えた中学生の中には、高校を来春卒業する生徒もいるなんて信じられません。

もうじき桜木を去るにあたり、今までの貴重な経験を一生忘れずにこれから自分の人生に生かし続け、この滞在期間中の経験や出会った人々を大切な思い出にして、頑張っていきたいと思います。物事をいつもギリギリまでやらない私にとって難しいことですが、音信が途絶えないよう頑張っていきます。

最後にみなさんの健康と幸福を祈って、いつの日か会えるのを楽しみに、終わりにします。じゃあまた!

(要約文)

Hey y'all. My name is Chris Wright, and I'm from Virginia in the U.S.A. I live in Yaita, population thirty thousand. I'm nearing the end of my third and, of course, final year as a junior highschool ALT for Shioya County. From my perch in the Shioya Board of Education, I have visited eight of the ten junior highs and quite a few of the many elementary schools in the county.

I am reminded every morning, as I walk to Yaita station on my way to school, of just how many students I have taught, on and off, over the past three years. A pleasant coincidence

has it so that the train I board every morning comes five minutes after a train that's loaded with kids commuting to a highschool in Yaita. I pass by all of these kids as we cross the station footbridge, headed in opposite directions. Judging by the number of faces that I recognize and the number of kids who flash me a smile and say "good morning," I can safely say that I have taught at least a third of the kids that get off that train. That's a lot of kids! But it's still only a fraction of the number that I have taught. What's even more unbelievable is that some of the kids that I taught in junior high my first Fall will be graduating from highschool next Spring. Wow! How time flies.

As I look to the future and contemplate the fact that I'm soon going to be leaving Tochigi, my schools, and my office, I find myself reflecting back on the many unforgettable experiences that I've had and the many incredible people that I've encountered. The experiences, of course, will remain with me as memories for the rest of my life. It's the friends that I've made, however, that can continue to play an active role in my life. That's only if I make an effort to remain in contact with them, though. It is going to be difficult for a procrastinator like me, but I'm going to make it my post JET resolution. I can't think of a better way of integrating my experiences on the Program into my life after the Program than by keeping people here a part of my life after I've moved elsewhere.

I'd like to bid everyone so long, and not farewell. I wish y'all the best of luck in all that you endeavor. Keep in touch!

国際交流 学校訪問

真岡市立真岡西中学校

国際理解教育を推進することを目的に、台湾雲林県斗六市にある私立正心高級中学校と相互交流を行っている真岡市立真岡西中学校(山口勲校長・生徒数418名)。真岡ロータリークラブと交流がある斗六ロータリークラブを通して、真岡西中と正心中との友好関係を結んではどうかとの提案があり、平成5年7月に姉妹校提携をした。



▲真岡西中で行われた楽しい交歓会



▲正心中の歓迎会で披露されたダンス

平成5年・7年度は正心中の生徒30名を受け入れ、平成6年・8年度は真岡西中の生徒30名を正心中へ派遣した。今後も受入・派遣を一年ごとに行っていく予定である。受入は真岡市の夏祭がある7月。市内の中学校が自作の神輿を担ぐので、正心中の生徒にも参加してもらう。一方派遣は11月下旬だ。

受入・派遣ともに、プログラムの柱はホームステイ。一家庭1人、4~5泊する。真岡西中の受入は夏休み中なので通常の授業はないが、1日だけ全校生徒に出席してもらい、歓迎会や交歓会を催す。ゲームやドッジボール、英語による自己紹介等、各クラスが独自のアイデアで交流内容を決める。他の日は、日光見学や、真岡市の一万人プールへ行ったりするという。正心中への派遣も殆ど同じようなプログラムである。昨年はダンスや音楽で歓迎され、交歓会で

は伝統的な粘土細工に挑戦したそうだ。

平成5年度からこの交流を担当し、2回の派遣にも参加した柳井正和教諭はこの事業について、「言葉の問題は、片言の英語と漢字による筆談でなんとかなります。プログラムへ参加した生徒達は、その後も文通などで交流を続けているようです。お互いの文化を知るのには本当に良いチャンスですね。本校の生徒はどちらかというと消極的なのですが、このプログラムを通して積極的になってくれるのが嬉しいです」と効果を語る。また、昨年度派遣され、現在生徒会長の圓橋理さん(3年)は、「行く前は、台湾の文化や経済は日本より劣っていると思っていましたが、実際は日本と変わらないようです。ホームステイでは家族の一員のように接してくれて嬉しかったです。この体験で、自分の性格が明るくなつたように思います」と感想を話してくれた。



▲担当の柳井教諭(右)と昨年度派遣された圓橋さん(左)

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

平成9年度 栃木県海外技術研修員

タンザニア連合共和国



①ハミス・サレ・ハミス ②35・男 ③国際協力事業団 ④自動車整備（ガソリンエンジンの整備、故障診断、検査法）
⑤(有)吉田自動車整備工場

タイ王国



①スイラボディー・トーン・シーチャン ②31・男 ③国際協力事業団 ④農業協同組合（農業構造改善・山間地振興、農村振興）
⑤JA小山市

ブラジル連邦共和国



①竹田・武夫・テニソン ②26・男 ③在伯栃木県人会 ④映像技術（写真技術、ビデオ編集技術）
⑤(株)松井ビ・テ・オ・印刷

中華人民共和国



①徐雲濤（じょううんとう） ②33・男
③浙江省人民政府 ④道路行政（道路の設計・入札・建設・管理等）
⑤栃木県土木部道路建設課

6月4日、今年度の栃木県海外技術研修員が成田空港に降り立った。今年の研修員は全部で13名。日本での生活に関するオリエンテーションを受けた後、国際交流団体である「ヒッポファミリークラブ」の会員宅にホームステイをしながら日本語研修を行った。次はいよいよ専門分野の研修である。

①氏名②年齢・性別③推薦機関
④研修科目⑤研修機関（敬称略）

マレーシア



①ボー・グアン・テック ②28・男 ③国際協力事業団 ④作業療法（リハビリテーション基礎知識と治療訓練方法）
⑤栃木県身体障害医療福祉センター

ボリビア共和国



①サンデル・ベラスケス・ロドリゲス ②34・男 ③国際協力事業団 ④自動車整備（電気系統の整備及びEFI/EGIの整備）
⑤日産自動車整備専門学校

モロッコ王国



①ハズリ・ゾラ ②26・女 ③国際協力事業団 ④婦人子供服（工業ミシンの操作・修理及び縫製技術）
⑤(株)シンガード、(株)マルサ

バングラデシュ人民共和国



①スフィア・ベゴム ②30・女 ③国際協力事業団 ④電子機器（ラジオ、T.V、ビデオ等の修理技術）
⑤(株)コジマ

ラオス人民民主共和国



①ヴィラベッド・シーサノン ②31・女 ③国際協力事業団 ④看護婦（術前・術語の看護、業務の役割分担法等）
⑤済生会宇都宮病院

ブラジル連邦共和国



①飯塚・清・ファビオ ②24・男 ③在伯栃木県人会 ④経営管理（レストランの経営管理）
⑤(株)コスマス（イタリアントマト）

中華人民共和国



①龔方戚（きょうほうせき） ②33・男 ③浙江省人民政府 ④小児科（小児先天性心血管疾病診断）
⑤自治医科大学附属病院

中華人民共和国



①葛永明（かつえいめい） ②28・男 ③浙江省人民政府 ④農業政策（農業補助金制度及び農協制度）
⑤栃木県農務部農政課

中華人民共和国



①鄭華章（ていかしょう） ②27・男 ③浙江省人民政府 ④野菜栽培（ビニールハウス、栽培、肥料配合、病虫害防止技術）
⑤栃木県農業試験場

チュニジア TUNISIA

かつて都市国家カルタゴがあり、フェニキア人の貿易の要地であったチュニジア。現在も海岸の都市は港町として発展している。歴史的に見ると、ローマの属州、7世紀に始まるイスラムの支配、16世紀にはオスマントルコの属州、その後フランスの保護領を経て、1956年に独立した。

主な産業は繊維、食品、鉄鋼、石油化学で、鉱業では世界的なリン鉱石の産出地として知られる。近年観光業も発展している。

研究所の機器は日本製

私が活動していたのは、チュニジア第2の都市スファックスにある国立スファックス工科大学環境科学研究所です。この研究所はチュニジアでも1、2位の設備を持っています。私は水質検査部門で学生や職員に技術指導をしていました。

水質検査は主に飲水と排水の2つに分かれます。チュニジアの水道水は硬水で少し塩辛いので、日本人には違和感がありますが一応飲みます。私が特に指導していたのは排水の方です。国営・民間の工場から排水検査の依頼がきます。例えばオリーブ工場の排水を分析し、肥料等に有効利用できるか研究したりします。また、農業用に使われている下水がどの程度処理されているかを調べます。その他、国のウォーターフロンティア計画のために、海水の汚染度や砂浜を造るための土壌検査も行いました。

研究所の機器は殆ど日本製なのでその使い方を説明したり、また新しい分析方法の紹介もしました。ちょっと問題だったのは、部品が壊れると代わりの部品を日本から送ってもらわなくてはならず、2か月から遅いときは半年も待たなければならぬことです。

全体的に見て、チュニジアの水質検査技

案内人

廣瀬光保さん (28・栃木市在住) 東京都環境科学研究所非常勤講師



青年海外協力隊の水質検査の技術アドバイザーとして、1994年12月～1996年12月の2年間、チュニジアの国立スファックス工科大学環境科学研究所で活躍する。派遣前は明治薬科大学研究室で水質検査の助手をしていた。以前からボランティアに興味があり、青年海外協力隊の記事を見て参加する決意をした。退職参加。

▲クスクス（左）の上にソース（右）をかけて食べる



平屋なんですが、家族が増えると2階、3階と足していくます。家族は一緒に同じ敷地内に住むのが普通です。庭に果物の樹があつたりして、うらやましいですね。

居間には絨毯が敷いてあり、周りには長椅子を置きます。ここで友人や客をもてなします。

チュニジアの南部は砂漠になっていますので、居住が可能なのはガベスという町くらいまでだと思います。一方地中海海岸部は住みやすく人口も多いです。



▲絨毯に長椅子の居間で客をもてなす

新婦は結婚前にエステ

衣類に関しては、西洋化が進んでいるせいか、男女とも洋服が多いです。でも年配の女性は白い布で体を巻く伝統的な服装をすることが多いです。ヨーロッパの影響を受けつつも、全てを受け入れるまでにはなっていないようです。家は石造りが多く、基本的には

物価は日本の4、5分の1程度。例えば牛乳1ℓが50円です。同じ職場の職員の月給が4～5万円でした。貧困層が困らないように、パンや野菜など食料品は安いです。電化製品は高いのでなかなか買えません



研究所で学生や生徒に教える廣瀬さん（中央）

チュニジア



が、テレビは普及しています。車は古いですが結構走っています。フランス、ドイツ、韓国からの輸入車が多いです。そういうえばチュニジアには国産のビールやワインがあるんですよ。特にワインは意外とおいしいです。イスラム国ですが、アルコールに関しては比較的緩やかなんですね。

滞在中、結婚式に参加することができました。新婦が結婚前に行うエステに、ヘンナという一種の飾りがあります。手の指や足を飴状の染料で染めて模様を描き、ヘンナの粉を水で練ったもので手足を覆います。さらに手足を袋で包んで、数時間から一晩そのままにすればできあがり。模様の部分が白く残り他の部分は赤や黒に染まります。私もやってもらいました。また、チュニジア式脱毛法で、レモン、砂糖、水を煮詰めて飴状にしたものを腕などに塗って勢い良く剥がします。見事に毛が抜けます。新婦はこのようにして結婚前に綺麗にします。そして披露宴には沢山の人が招待され、飲んで食べて踊って、夜中まで賑やかに行います。

チュニジアにはあちこちにモスクがあります。200世帯にひとつあるそうです。金曜日には祈りのために沢山の男性が集まります。年1回行うラマダン（断食）の30日間は、太陽が出ているあいだは食べ物を口にすることが出来ません。この期間は仕事にならないので、午後は帰ってし



▶砂漠祭でのラクダのパレード



まいます。昼間の断食とは一変して、日没後は御馳走を食べます。女性はこのために午後一杯をかけて料理を作らなければならぬので大変です。

イスラム国というと男性社会と思われがちですが、チュニジアでは男女格差が徐々になくなっています。イスラム国の中では1、2位でしょう。重要なポストに就いている女性公務員もいます。一夫多妻も

禁止されています。

ここで、チュニジアの有名なお祭りを2つ紹介します。ひとつは「砂漠祭」といい、その名のとおり砂漠で行われます。パレード他各種イベントが催され、世界中から観客が

訪れます。もうひとつは「犠牲祭」と呼ばれるラマダンの後に行われる宗教的な祭です。羊を殺して供養した後、肉、内蔵等全て食べてしまいます。この祭のために学生も帰省して、家族全員で祝います。

ローマ時代の遺跡の数々

歴史上様々な国に支配されたチュニジアで、特にローマ時代の遺跡は沢山残っています。カルタゴにあるアントニヌスの共同浴場は、広大な敷地に沢山の部屋があつたことが想像できます。また、3世紀に建てられたエルジェムのコロセウムは非常に大きく、最も保存状態

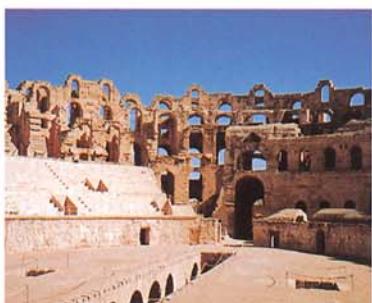
がよくて観光の目玉です。夏にはコンサートや劇が上演されます。他にドゥガの神殿、マクタールの凱旋門など本当に多くの遺跡があるんです。



◀犠牲祭で皮を剥がれた羊

私のお勧めはエルハンマの温泉。日本の銭湯のようです。地元の人達は沢山の手荷物をもって入りに来ています、長時間おしゃべりをして楽しく過ごします。チュニジア南部の砂漠を四輪駆動車で観光するツアーでは、砂漠でラクダやロバに乗れます。

チュニジアは日本からは遠い国ですが、治安がよく見どころが豊富ですので、ぜひ一度訪れてみてください。



◀迫力のあるエルジェムのコロセウム

データ



チュニジア共和国

- ① 面積 164,154 km²
- ② 人口 874万人（94年）
- ③ 首都 チュニス
- ④ 主要言語 アラビア語、仏語
- ⑤ 民族構成 アラブ人が殆ど
- ⑥ 宗教 イスラム教スンニ派が殆ど
- ⑦ 建国 1956年にフランスから独立
- ⑧ 通貨 チュニジア・ディナール
- ⑨ 元首 大統領
- ⑩ その他 協力隊員の派遣人数199人
栃木県からは5人

【国旗の意味】

三日月と星は、イスラム教徒の国を示している。上弦の月は幸福の意味。トルコの新月旗を手本にして19世紀に作られたといわれる。

国際交流団体紹介

黒磯市国際交流協会

私たち黒磯市国際交流協会は、平成5年4月17日に、「国際交流を推進し、国際理解を深めるとともに、地域住民と在住外国人の日常的な交流を行うなかで相互理解を深め、もってまちづくりに寄与すること」を目的として発足しました。今年で5年目



▲ふれあい広場でタイ料理と文化の紹介

こんな店 あんな店

インド料理 タジマハール

宇都宮の人に本場インドの味を楽しんでもらおうと、5年前に「タジマハール」を開店したオーナーの加藤さん。昔からインド文化に大変興味を持っていて、当時飲食店で何をやろうかと考えた時、人気のエスニック料理が頭に浮かび、身近にインドの友人がいたということもあり、インド料理店に決めたという。店内に飾られた様々な調度品や装飾品は、全てオーナーが現地に



▲民芸品で飾られた落ちついた店内

を迎え、現在の会員数は個人163名、法人36団体、各種事業などもようやく軌道に乗ってきたという気がしています。

昨年の主な事業は、市内に住む外国人のための日本語教室や、中学生を対象にしたALTと過ごすイングリッシュ・キャンプなどのほか、夏には福祉事業のふれあい広場に参加して、タイ料理と文化の紹介を通していろいろな人との交流をもちました。2月には、近隣に住む国際交流員、ALT、日本語教室に通う生徒さんを招待してセミナーを開き、日本に対する印象や感じていることなどをストレートに話していただき、有意義な時間を過ごしました。

また昨年は特に、市内に住む外国人が生活しやすいように、「黒磯市生活ガイドブック」(英・ボ版)と、市内の公共施設を中心に日本語とローマ字で表記した「生活便利マップ」を発行することができました。できるだけ多くの方に役立ててほしいと願っています。

これから課題としては、益々外国人の定住者が増える中で、私たち協会員がますます国際理解を深め、交流できるいろいろな場を提供することができればと思っています。そして、そういう場から日常的な交流の輪

を広げていけるよう努めていきたいと思います。

(事務局: ☎ 0287-62-7126)

知ってて得する なんでもQ&A

[海外送金について パートⅡ]

前回に続きテーマは同じですが、今回は銀行からの海外送金についてです。

海外に在留する方の多くは、その国に銀行口座を開設していると思います。銀行口座がある場合、電信送金や普通送金といった送金人の口座から受取人の口座へ直接振り込む方法がとれます。また、小切手を送金人が郵送し、現地で現金化する方法もあります。

送金の手続きは銀行の窓口に送金依頼書等を提出して行いますが、送金額、送金先、方法、通貨によって提出書類や所要日数、手数料が異なりますので、詳しくは最寄りの銀行へお問い合わせ下さい。

ドビール他世界各国のビールが味わえる。また、インドのチャイのマサラ茶もあり、原産国インドよりもおいしいと評判だ。

ナンは普通のナンの他、キーマ(挽き肉)ナン、ガーリックナン、チーズナン、カシミールナン等があり、150円をプラスしてカレーに付いているものと取り替えられる。人気はガーリックとチーズだそうだ。

その他、ランチメニューはセットものでかなりお得になっている。やはりお客様はカップルが多いそうだが、エスニック料理が好きな人や辛いもの好きな人にもぜひお勧めしたいお店だ。

▶ 営業時間=ランチ11:30~14:30、ディナー 17:30~21:30(ラストオーダー) ▶ 年中無休 ▶ 住所=宇都宮市東宿郷6-1-21東パークハイツ2F ▶ 電話:028-638-2411



行って買い揃えたものとのこと。

インド料理というと私たちはカレーを思い浮かべるが、実際インドでは、カレーというものはインド料理の総称とも言える存在であり、日常に溶け込んでいるようだ。「タジマハール」のコックさんは全部で4名。インド、バングラデシュ、ネパールの方で、皆それぞれの母国では超一流のベテランコックさんだそうだ。

インド料理は、大きくタンドール料理、シチュー料理、フライ料理の3つに分けられる。カレーはシチュー料理に入り、チキンとマトンカレー、それにダル(豆)カレーが主流で、マトンカレーは山羊の肉なのだそうだ。オーナーのお勧めはビーフ、チキン、野菜のカレー。ナン付きで1,000円前後で食べられる。インド料理は初めてという方のためのエコノミーセット(¥1,600)やカップルで楽しめるペアセット(¥3,950)はボリュームたっぷりだ。飲物では、イン



情報発信 地域の国際交流案内

★国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト栃木県大会の開催

作文を通して、本年の「日本国際連合協会創立50周年」の意義を取り上げ、平和、人権、環境等に対する国際理解や国際協力の必要性を強調する「第37回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト栃木県大会」が次のとおり開催されます。

▶対象=栃木県内の中学生 ▶内容=題は自由。上記の趣旨に従い、学校、家庭、社会等における作者の研究、体験、実践に基づいて述べたもの。▶原稿=400字詰め原稿用紙3枚以内（原稿には、氏名・住所・学校名・学年・年齢・を明記）。▶募集

新規外国人留学生の歓迎会を開催

TIAでは、栃木県に来た新規留学生を対象に、先輩留学生がパネリストとなり日本での生活をアドバイスするパネルディスカッションを盛り込んだ「平成9年度外国人留学生新入生歓迎会」を、5月31日、プラザイン・くろかみで開催した。

会場には、宇都宮大を始め県内7大学から50名を越える留学生、大学関係者が集まった。まず栃木県の概要、TIAの業務内容、栃木県地域留学生交流推進協議会の内容が栃木県国際交流課、TIA、推進協議会から説明され、メインのパネルディスカッションに移った。パネリストはポンサンさん（タイ・作新学院大学）、鮑さん（中国・白鷗大学）、金さん（韓国・足利工業大学）、劉さん（中国・宇都宮大学）の4

期間=1997年7月14日～9月5日 ▶その他=入賞作品6編以内を全国大会に推薦する。▶送付・連絡先=日本国際連合協会栃木県本部/〒320 宇都宮市昭和1-2-16栃木県自治会館1階 財團法人栃木県国際交流協会内 ☎028-621-0777

TIA日誌

1997年5月1日～1997年6月30日

- 5/6 青年海外協力隊春募集説明会（大田原市）(14・小山市、21・宇都宮市)
- 5/9 栃木県海外移住家族会役員会・監査（研修室）
- 5/13 TIA監査（自治会館）
- 5/18 栃木県JICA専門家連絡会総会（くろかみ）
- 5/21 TIA評議員会（自治会館）
- 5/22 TIA理事会（ニュームくら）
- 5/24 栃木県青年海外協力隊OB会総会（ニュームくら）
- 5/30 栃木県海外移住家族会総会（研修室）
- 5/31 外国人留学生支援金に関するガイダンス・懇親会（くろかみ）
- 6/2 市町国際交流協会連絡会議、民間国際交流団体連絡会議（くろかみ）
- 6/4 海外技術研修員入国
- 6/5 海外技術研修員TIA表敬訪問
- 6/10 栃木県日仏青少年短期研修事業監査（アンタレス山浦）
- 6/23 海外技術研修員知事表敬訪問
浙江省人民对外友好協会訪日団入国（～25）

第21回理事会・第18回評議員会（5月開催）における承認事項

- 1 平成8年度財團法人栃木県国際交流協会事業報告について
- 2 平成8年度財團法人栃木県国際交流協会収支決算について
- 3 財團法人栃木県国際交流協会副会長の委嘱同意について（理事会のみ）
- 4 財團法人栃木県国際交流協会役員の選任について（理事会のみ）

国産第1号機の実績と信用

Konica



情報マシンとシステム販売

栃木システム販売株式会社

代表取締役 大金幸司

本社 〒321 宇都宮市梁瀬町1785
電話 (028) 637-1933(代) FAX (028) 634-4191

お見事、旅を楽しくする頼もしい味方！孫悟空がしっかりエスコートします。

トラベラーズチェック 米ドル・円
安心で簡単。再発行もスピード

ホリデイ **トラベル** カード
1週間でスピード発行

海外旅行傷害保険
万一に備えて、心強い味方

海外旅行のおみやげ
日本で予約、手ぶらで帰国

人が好き。地図が好き。旅がスキ。

近畿日本ツーリスト

宇都宮市池上町2-2(中村第一ビル1F)

宇都宮支店

☎ 028-633-2151



TIA Information Corner

★「世界が見える写真展」の写真募集

「交流」と「日常」をテーマに、世界の人と人との触れ合いを撮影したものや、各国の様子が伺える日常の光景を撮影したもの（日本で撮影されたものも可）を次のとおり募集します。▶応募規定=プリントのみを提出し、入賞者は後にネガ又はポジを提出する（ネガ又はポジが提出できない場合は入賞取り消し）。カラー、白黒は問わない。単写真のみ（組写真は不可）。キャビネ判又は2Lサイズ。未発表のもの。応募者本人が撮影したもの。1人3点まで。▶賞=特選1点（賞状及び50,000円）、準特選3点（賞状及び30,000円）他 ▶応募方法=作品1点ごとに氏名、年齢、住所、電話番号、撮影場所、撮影年月日、画題を明記した紙を貼付し、郵送又は持参 ▶募集期限=1997年9月16日（必着）▶送付・連絡先=財団法人栃木県国際交流協会〒320 栃木県宇都宮市昭和1-2-16自治会館1階／☎028-621-0777

★PHOTOGRAPHS OF THE WORLD (Photography Contest)

We are now accepting your artistic pictures for this Photography Contest. The photos must depict interrelation between people or everyday life in Japan or your home country. Specifics: The picture can be either color or black and white. It must be 125mm×180mm. Entries must consist of only one photo.

Restriction: The photographs must be taken by the participant. Maximum of 3 entries per person. This must be the first time that photo is entered in a contest. Winners must be ready to submit a negative or positive of the winning entry. If that is not supplied, the prize will be relinquished.

How to apply:
A paper with your name, age, address, Tel No., and place & date photo was taken has to be affixed to each photo.

Grand Prize:¥50,000

Runner ups(3 winners):¥30,000
Please send your work(s) by Sept.16, '97 to Tochigi International Association (TIA).
Information:TIA
〒320 Utunomiya-shi, Showa 1-2-16
Jichi-kaikan 1F
TEL:028-621-0777.

募集「从照片看世界」的作品

现在正在募集以「交流」、「日常生活」为主题，世界各国人和人的接触、各国日常生活的光景所拍摄的照片。（在日本拍的也可以）

応募規定=先提交照片，中奖之后再将底片交出。

（没有底片，取消中奖资格）
不拘彩色，黑白照片。
(连环整套照片不行。只限于单张照片。)
照片尺寸=125mm×180mm
限于没有发表过的作品。
応募者本人拍摄的作品。1个人只限3张为止。

奖 品=特等獎1件（奖状和5万日币）。
准特等獎3件（奖状和3万日币）等。

応募方法=每件作品请在纸上写上姓名、年令、地址、电话号码、摄影場所、摄影年月日、題名貼上照片、邮寄或提交。

募集期限=1997年9月16日（必到）

邮寄地址=財团法人 栃木县国際交流協会
〒320 栃木県宇都宮市昭和1-2-16
自治会館1F
Tel : 028-621-0777

★ABERTURA DE INSCRIÇÃO PARA EXPOSIÇÃO DE FOTOGRAFIAS

▶Os temas são: "O relacionamento entre as pessoas de vários países" e "A vida cotidiana do estrangeiro" (aceitam fotos tiradas no Japão). ▶Regulamentos: Inicialmente, enviar apenas as fotos. Os premiados, posteriormente, terão que apresentar a negativa ou positiva (Caso não apresentar o mesmo, o prêmio será cancelado). Podem ser colorido ou branco e preto. As fotos devem ser unitários, não podem ser em série. O tamanho é de 125mm X 180mm. As fotos que não participaram de outras exposições. Devem ser

fotos tirados pelo próprio inscrito. Uma pessoa pode participar com até 3 fotos. ▶Prêmios: 1o.Lugar, uma foto (Certificado de Mérito + ¥50.000); 2o.Lugar, 3 fotos (Certificado + ¥30.000) ▶Inscrição: Anexar em cada fotografia o nome, a idade, o endereço, o telefone, a data e o nome do local onde foi tirado a foto, o tema da foto. As fotos podem ser entregues diretamente a TIA até o dia /6/9/97 ou enviados pelo correio, desde que cheguem até o dia 16/9/97 na TIA.

▶Informações: Tochigi International Association (TIA) 〒320 Utunomiya-shi, Showa 1-2-16 Diti-kaikan 1o.piso Tel 028-621-0777

★栃木浙江友好会館「杜鵑樓」竣工記念・県民訪中団の募集

栃木県と友好関係にある中国浙江省に建設中の栃木浙江友好会館「杜鵑樓（とけんろう）」が、今年の11月末に竣工します。そこで、この竣工式に参加する県民訪中団員を募集します。▶日程=1997年11月25日（火）～11月30日（日）▶内容=友好会館竣工式、記念パーティー、上海市・杭州市・蘇州観光等 ▶募集人員=80名 ▶参加費用=177,000円 ▶申込み及び問い合わせ=訪中団実行委員会（TIA内）☎028-621-0777まで ▶募集期間=1997年8月20日まで

TIA 賛助会員募集中！

賛助会員になりますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等が受けられます。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円。※賛助会費と出捐金の運用益は、TIAの様々な事業に使われており、地域の国際化のために役立っています。

○○小学校で教員をしている親友がTIAを訪れ、同校で進めていた国際理解教育の今年度のスケジュール表を見せてくれた。アジア4か国からの在県外国人を招いて、各國の紹介等をしてもらうというのだが、社会の授業の内容～例えば仕事、気候、貿易等～に関連する内容を話してもらったり、1回きりではなく年に3～4回招待し生徒と継続的に触れ合ってもらうなど、決して「1回だけの簡単母國紹介」に終わらせないようにしている。また生徒たちも事前に研究し、質疑応答により更に一步踏み込んだ異文化理解を行っているという。いきいきと質問する子供たちの姿が目に浮かぶ。

※財團法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。

